

株主通信

vol.12

第23期 事業報告書

平成19年11月1日から平成20年10月31日まで



LL
HD 大阪証券取引所
上場4355

ロングライフホールディング株式会社

証券コード4355

ロングライフ芦屋

持株会社の設立により、経営スピードが迅速化 セカンドライフの総合プロデュース企業としてさら



Q1. 今期の業績についてお聞かせください。

A. 総論から申しますと、今期の業績には、3つのポイントがあります。

1つ目は、既存の有料老人ホーム・グループホームの入居率が70%を達成し、日本ロングライフ株式会社の業績が好調であったことです。

2つ目は、株式会社コムスの在宅介護事業を承継した

エルケア株式会社の経常利益が単月黒字化できたことです。当社の地元である大阪の高齢者の方々が混乱しないようスムーズに事業承継できたことは社会的にも意味のあることでした。また当社の企業経営面においても非常に効果的であったと思います。

3つ目は、当社の事業領域である高齢者市場は、日本国内外の経済が減速しても影響を受けないことです。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は84億53百万円（前期比74.1%増）、営業利益は29百万円（前期より1億42百万円増）、経常利益は△15百万円（前期より1億50百万円増）、純利益は△56百万円（前期より1億71百万円増）となりました。

Q2. 今期はどのようなことに注力されましたか？

A. 「セカンドライフの総合プロデュース」を目指して純粋持株会社のロングライフホールディング株式会社を設立したことです。この持株会社化により、経営判断のスピードが格段に速まりました。加えて、各事業会社の経営責任が明確化したことも重要なポイントです。

また業績結果からもご理解いただけますように、いよいよ先行投資の回収期に入ってまいりました。お客さまのご要望は、ますます本物志向となり、高品質化、多様化して



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
2008年5月1日に従来の日本ロングライフ株式会社を純粋持株会社化し、
ロングライフホールディング株式会社として企業成長にまい進する遠藤正一社長に、
2008年10月期の業績および今後の方向性について聞きました。

なる飛躍を。

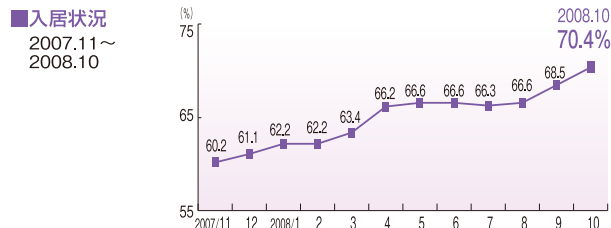
います。現在の介護業界を分類すると、介護専門業者と異業種からの参入があり、且つ、低価格帯、高価格帯に分かれます。これらはいずれ淘汰され、当社のように介護専門事業者で高価格帯、質の高いサービスを提供できる企業のみが生き残ることを確信しております。

Q3. 日本ロングライフ株式会社とエルケア株式会社についてのお考えは？

A. ホーム介護事業を行っている日本ロングライフ株式会社は、入居率70%を達成しました。これは当期に新規設備投資を行わず、全体の営業体制を強化したことが奏功しています。

再来期は、阪神間に将来的な需要を見越した新規ホームの事業計画があるものの、来期は、今期同様に既存ホームの入居率向上に努めます。

在宅介護事業のエルケア株式会社については、コスト削減と生産性の向上を図り、2008年7月に単月黒字化して



います。具体的には事業所の統廃合や本社管理部門の縮小、不採算部門の廃止を進め、ヘルパーの稼働率アップ、ケアマネジャー1人当たりのプラン作成を増加させました。課題はあるものの、今後の成長が楽しみな会社であることには変わりなく、来期も経営の安定を目指した全体的な取り組みを強化してまいります。

Q4. 3年後のビジョンをお聞かせください。

A. 2010年を目安に売上高100億円を突破させ、経常利益率10%以上の2ケタ台を目指したいと思っています。

その目標に向けてホーム介護事業と在宅介護事業を当社のビジネスの両輪とした経営戦略を展開し、「セカンドライフの総合プロデューサー」企業として、株主様や投資家様の皆様にご満足いただけるような会社へとさらに努力、発展をさせてまいります。

代表取締役社長 遠藤 正一

遠藤 正一



「おもてなしのプロ」としての自負と これからのロングライフに欠かせない人材。

社長を聞き手に、ロングライフで活躍する3人の社員が未来像を語ります。

社長 現在、介護業界を取り巻く環境は、残念ながらとてもネガティブに捉えられています。けれども、ロングライフにネガティブは似合いません。ケアサービスにおける「おもてなしのプロ」として、高齢化社会の未来を創るリーディングカンパニーでありたいと取り組んでいます。その成長の舞台として、もちろんアジアやヨーロッパも視野に入れています。その実現には、社員全員の向上心が必要不可欠。皆さんは今後の目標や、共に働きたいスタッフ像について、どのように考えていますか？

小林 そうですね、自分の仕事を通じて、もっと明るくてもっと元気な高齢の方を増やしていきたいですね。一緒に

働きたいのは、前向きで、謙虚で、素直な明るいスタッフ。そんな仲間が一人でも増えたらうれしいですね

社長 元気な高齢者を増やすには、私たちが常に元気で明るくなければなりませんよね。松井さんはどうですか？

松井 個人的には、現在マネジメントディレクターですので、もっとステップアップしていきたいです。新入社員に求めるのは、素直で明るいのはもちろん、どんどん質問してくれるような姿勢。一緒に頑張れる仲間が入ってきてくれるとうれしいですね。

社長 新和田さんは、どんな新入社員を期待していますか？

新和田 そうですね、私自身が「次のステップ、次のステッ



日本ロングライフ株式会社
営業本部 大阪本部
副本部長
小林 靖幸



日本ロングライフ株式会社
ホームサービス本部
「ロングライフ上野芝」
マネジメントディレクター
松井 理



日本ロングライフ株式会社
ホームサービス本部
「ロングライフウイーンズ掘屋」
副ホーム長兼マネジメントディレクター
新和田 彩



プ」という向上心を大事にしているのです、その気持ちに共感してくれる後輩がいてくれると、心強いです。20年後、30年後のロングライフを共に創っていきましょう。

社長 なるほど。新和田さんは、数十年先のイメージができていますよね。これは常に、社員にも言っているのですが、私たちの仕事というのは、「その時売れたらいい」とか「ブームになったらいい」ではない。お年寄りやお客様の大事な財産を預かっているのだから、絶対に会社を成長させなければならないんです。とはいえ無理をするのではなく、ゆるやかな成長を目標にしています。

そのために欠かせないのが、やっぱり明るくて若い人材だと考えます。いつも「来年の自分がどうなっているか楽しみ」「明日どんなことが起こるんだろう」って、ハラハラドキドキしている人がおもしろくていいですね。

また今年は、ロングライフホールディング株式会社になっ

て初めての新卒採用になりますから、芸術を学んだ方、経済を学んだ方など、幅広い人材を求めたいですね。どんな新しい顔ぶれに会えるか、私自身も楽しみです。皆さん、今日はどうもありがとうございます！



高齢化社会を支える
リーディングカンパニーとして。

東南アジア企業との連携を スタートしました。

日本に公的介護保険が誕生する以前の1986年、ケアサービス業の先駆者として誕生した、日本ロングライフ株式会社。高齢化が先進諸国共通の問題となりつつある今、私たちのビジネススケールもワールドワイドな広がりをみせようとしています。2008年には、台湾の医療・衛生メーカー富堡工業股份有限公司(Fuburg)との合弁会社設立に向けた基本合意契約を締結。わが国のケアビジネスのリーディングカンパニーとしての実績をいかし、さらに世界市場へと向かいます。

●「増田明美の 走れ！ロングライフ」がスタート。

昨年10月から大阪のMBSラジオで「増田明美の走れ！ロングライフ」の放送が始まりました。パーソナリティーの増田明美さんは元マラソンランナーのスポーツジャーナリスト。豊富な経験を生かして、心と体の健康をテーマにセカンドライフを応援する楽しいお話をしています。放送は毎週日曜の午後5時45分～6時。関西在住の方は、ぜひAMラジオを1179KHZに合わせてお聴きください。



MBSラジオ1179
増田明美の **走れ！ロングライフ**
毎週日曜日 17:45～18:00 絶賛放送中

●夢と感動を届ける 体験的介護論 「究極の介護サービスを創る」

少年時代に介護・福祉の道を志して以来、40年以上この道一筋に歩んできた遠藤社長が、その豊富な知見を基にまとめた体験的介護論です。「介護・福祉は究極のサービス業である」という信念や、お客様に心から満足していただける介護サービスとは何か、日本人にあった介護サービスとは何かなどを熱い想いととも語っています。

発刊：株式会社日本医療企画
著者：遠藤正一
定価：1,500円（税別）

●ご要望の方は
0120-550-294



●毎日ロングライフ新聞創刊

『ロングライフ通信・ちあーず』を創刊し、隔月でお届けするようになったのは2001年12月。その後、情報や誌面の充実を図りながら雑誌スタイルの季刊『ちあーずらいふ』に改訂。創刊当初から一貫して、私たちの活動をご報告させていただき、福祉や介護に対する考えやビジョンを皆様にお伝えしてきました。

そして、8年目を迎えるにあたり、さらに大幅にリニューアル。ロングライフグループに対する皆様のご期待にお応えして、タイムリーに情報を発信できるよう、毎日新聞社発行のタブロイド版の新聞でお届けいたします。



●ご要望の方は **0120-550-294**

●「ロングライフはこんなことまでしてくれるのか」と感動してくださる お客様を一人でも多く作ります。

これまでのケアサービスはお客様を“助けてあげるべき人だ”と捉えてきました。しかし、これではお客様のニーズや価値観をまったく考慮していないのではないのでしょうか。残りの人生を助けるという考えではなく、楽しくお暮らしていただくための、お手伝いをさせていただく。お客様一人ひとりにマッチしたサービスを幅広く提供することで、「生きていてよかった」と思える人生を送っていただくために、お客様に満足と感動を感じていただける究極のサービスを創造します。





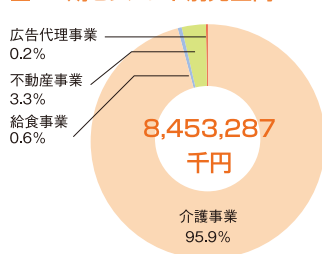
経営成績に関する分析

当連結会計年度におけるわが国の経済は、サブプライムローン問題に起因し、金融機関を始め、個人消費にまで大きく影響を受けた年度となりました。内閣府発表による国内総生産は緩やかなマイナス基調にあり、企業設備投資も2007年後半より軒並み減少傾向にあります。また、日銀短観による売上高経常利益率は4%台から3%台に下落し、企業業績の悪化が顕著に表われた年度となりました。昨今では日本経済を反映するとされるTOPIXも1,000円台を割ったまま乱高下を繰り返している状況にあります。歴史的な高騰を遂げた原油先物市況は夏以降大幅に調整がなされましたが、円高基調の強まりは収まらず、輸出が牽引する日本経済には、なお大きな懸念材料となっております。

介護サービス業界におきましては、業界内の競争激化が顕著な一方、自然淘汰される傾向も否めません。今後、以前にも増して質の高いサービスと人員確保が要求されます。また、後期高齢者医療制度の施行開始により国民の高齢者ケアに対する関心が非常に高まった年度でもありましたが、当業界では今後の介護報酬の改定が業界動向の大きな要因になると考えます。

このような状況のもと、当社グループの当連結会計年度の売上高は8,453百万円（前年同期比74.1%増）となりました。利益につきましては、営業利益は29百万円（前年同期は112百万円の損失）、経常利益は△15百万円（前年同期は165百万円の損失）、当期純利益は△56百万円（前年同期は227百万円の損失）となりました。

■23期セグメント別売上高



	単位(千円)
介護事業	8,107,809
給食事業	49,974
不動産事業	277,840
広告代理事業	17,662
合計	8,453,287

《介護事業》

介護事業においては、主に当社グループ連結子会社3社で構成されております。当連結会計年度より連結子会社とした日本ロングライフ株式会社が、有料老人ホームおよびグループホームの運営、兵庫県住宅供給公社の経営する有料老人ホームパストラル尼崎・加古川の運営の受託、訪問介護員の養成を主に行うロングライフ医療福祉専門学院の運営を行っております。また、訪問入浴、訪問介護を主力とする在宅介護サービスはエルケア株式会社が、訪問介護員の派遣事業はロングライフサポート株式会社が行っております。売上高は81億7百万円、営業利益は2億58百万円となりました。

《給食事業》

給食事業においては、連結子会社で主に有料老人ホーム等への食事の提供および飲食店の経営を行うロングライフダイニング株式会社で構成されております。売上高は49百万円、営業利益は14百万円となりました。

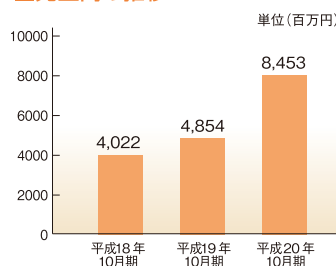
《不動産事業》

不動産事業においては、連結子会社で主に建築工事請負業を行うロングライフプランニング株式会社で構成されております。売上高は2億77百万円、営業損失は3百万円となりました。

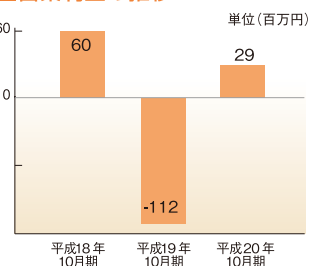
《広告代理事業》

広告代理事業においては、連結子会社で主に広告代理業を行うロングライフエージェンシー株式会社で構成されております。売上高は17百万円、営業損失5百万円となりました。

■売上高の推移



■営業利益の推移



連結貸借対照表

(単位:千円)

科 目	前 期 平成19年10月期	当 期 平成20年10月期
(資産の部)		
流動資産		
① 現金及び預金	1,147,435	697,535
受取手形及び売掛金	500,310	1,049,607
たな卸資産	392,345	344,253
繰延税金資産	30,708	52,074
② 預け金	107,693	416,740
前払金	225,000	—
その他	133,250	181,698
貸倒引当金	△256	△129
流動資産合計	2,536,488	2,741,781
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,596,588	3,468,683
車両運搬具	465	2,843
工具器具備品	161,783	123,506
土地	1,664,891	1,664,891
建設仮勘定	—	5,973
有形固定資産合計	5,423,730	5,265,899
無形固定資産		
③ のれん	—	344,838
その他	14,565	21,911
無形固定資産合計	14,565	366,750
投資その他の資産		
投資有価証券	—	14,586
差入保証金	390,341	425,545
長期前払費用	99,553	97,300
その他	36,458	14,730
投資その他の資産合計	526,354	552,163
固定資産合計	5,964,649	6,184,812
資産合計	8,501,138	8,926,594

① 株式会社コムスン（以下コムスン）の大阪における在宅サービス事業承継により売掛金（介護保険報酬等）が大幅に増加

② 入居一時金の保全が必要になった為、信託会社に信託した事により増加

③ コムスンからの事業承継により増加

④ 入居促進による一時金等の預り金が増加

科 目	前 期 平成19年10月期	当 期 平成20年10月期
(負債の部)		
流動負債		
買掛金	124,882	120,861
一年以内償還予定社債	200,000	100,000
短期借入金	709,000	487,500
一年以内返済予定長期借入金	878,600	1,185,936
未払金	117,388	170,404
未払費用	199,305	380,601
未払法人税等	33,819	42,090
④ 前受金	2,719,779	3,050,524
賞与引当金	42,939	47,912
契約解除引当金	22,086	19,981
その他	60,605	97,657
流動負債合計	5,108,406	5,703,470
固定負債		
社債	100,000	—
長期借入金	856,900	850,400
繰延税金負債	—	1,904
退職給付引当金	4,680	6,036
ホーム介護アフターコスト引当金	17,280	16,200
その他	4,100	3,200
固定負債合計	982,960	877,740
負債合計	6,091,367	6,581,211
(純資産の部)		
株主資本		
資本金	1,114,139	1,114,139
資本剰余金	1,113,376	1,113,376
利益剰余金	209,469	147,382
自己株式	△32,301	△32,301
株主資本合計	2,404,683	2,342,596
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	—	2,786
評価・換算差額等合計	—	2,786
少数株主持分	5,086	—
純資産合計	2,409,770	2,345,382
負債純資産合計	8,501,138	8,926,594



連結損益計算書

(単位:千円)

科 目	前 期 平成19年10月期	当 期 平成20年10月期
⑤ 売上高	4,854,724	8,453,287
売上原価	3,957,963	6,997,156
売上総利益	896,760	1,456,130
販売費及び一般管理費	1,009,624	1,426,168
営業利益または営業損失 (△)	△112,863	29,962
営業外収益	7,476	17,485
営業外費用	59,855	62,594
経常損失	165,242	15,145
特別利益	1,211	388
特別損失	41,346	22,538
税金等調整前当期純損失	205,377	37,296
法人税、住民税及び事業税	27,235	20,522
少数株主損失 (△)	△4,730	△1,226
⑥ 当期純損失	227,882	56,592

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科 目	前 期 平成19年10月期	当 期 平成20年10月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	△201,103	333,969
投資活動によるキャッシュ・フロー	△44,245	△477,851
財務活動によるキャッシュ・フロー	344,866	△126,017
現金及び現金同等物の増加額または減少額 (△)	99,516	△269,899
現金及び現金同等物の期首残高	827,317	967,435
連結範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増加額	40,600	—
現金及び現金同等物の期末残高	967,435	697,535

- ⑤ コムスンからの事業承継により売上が前年対比 74%以上の大幅増加
 ⑥ 好調であるホーム介護事業等の要因で、当期純損失が大幅に改善

連結株主資本等変動計算書 (自平成19年11月1日 至平成20年10月31日)

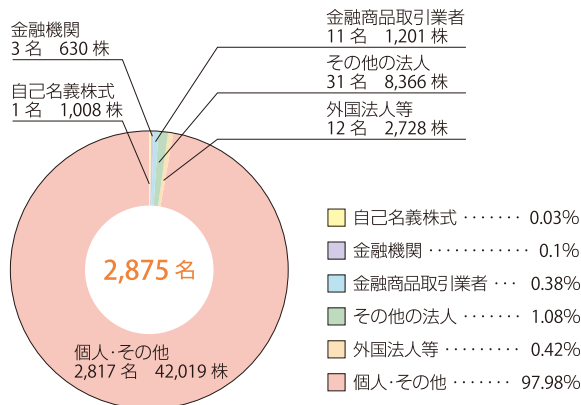
	株 主 資 本					評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	少数株主持分	純 資 産 合 計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合 計			
平成19年10月31日残高 (千円)	1,114,139	1,113,376	209,469	△32,301	2,404,683	—	5,086	2,409,770
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△5,494		△5,494		—	△5,494
当期純損失 (△)			△56,592		△56,592		—	△56,592
株主資本以外の項目の連結会計年度中の 変動額 (純額)						2,786	△5,086	△2,300
連結会計年度中の変動額合計 (千円)	—	—	△62,087	—	△62,087	2,786	△5,086	△64,387
平成20年10月31日残高 (千円)	1,114,139	1,113,376	147,382	△32,301	2,342,596	2,786	—	2,345,382



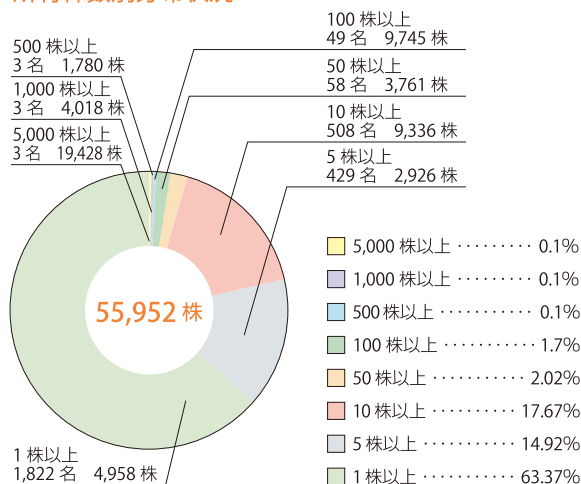
発行可能株式総数 126,000 株
 発行済株式総数 (自己株式1,008株を除く) 54,944 株
 株主数 2,875 名

■株式分布状況

所有者別株式分布状況



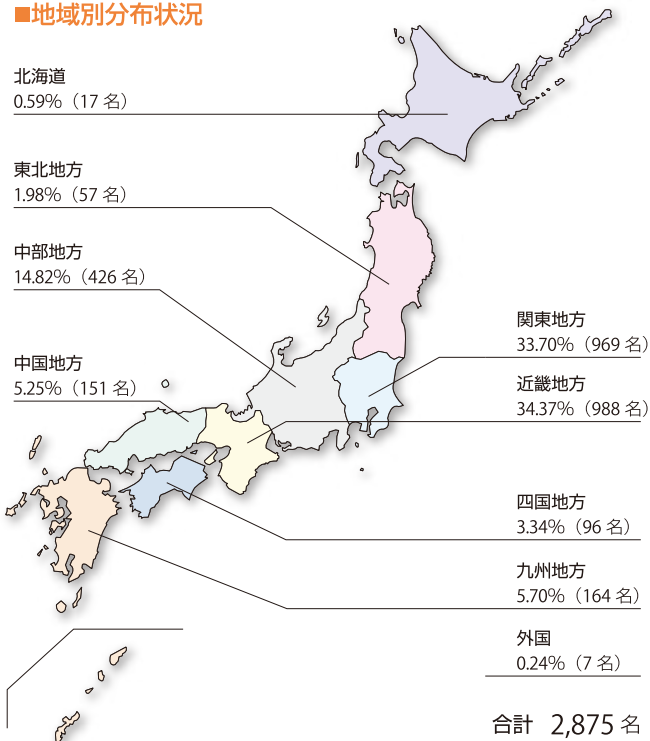
所有株数別分布状況



■大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
遠藤 正一	6,666	11.91
ロングライフ総研株式会社	6,428	11.48
北村 政美	6,334	11.32
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	1,990	3.55
梅木 健一	1,020	1.82
ロングライフホールディング株式会社	1,008	1.80
ロングライフホールディング従業員持株会	712	1.27
王 増富	540	0.96
株式会社 CDG	528	0.94
ロングライフホールディング役員持株会	464	0.82

■地域別分布状況





会社名	ロングライフホールディング株式会社
大阪本社	〒530-0015 大阪市北区中崎西二丁目4番 12号梅田センタービル25階
東京本社	〒103-0022 東京都中央区日本橋室町三丁目 2番9号駒井ビル3階
代表者	代表取締役社長 遠藤 正一
設立	1986年9月(昭和61年9月)
資本金	11億1,413万円
事業内容	傘下グループ会社の経営管理並びにそれに 付帯する業務

会社役員

代表取締役社長	遠藤 正一
代表取締役副社長	北村 政美
専務取締役	小嶋 ひろみ
常務取締役	瀧村 明泰
常勤監査役	田中 朗義
監査役	木村 公之
監査役	米田 昭三郎
執行役員	小島 和也
執行役員	宮下 清二郎
執行役員	橋本 恭弘
執行役員	松山 純一郎
執行役員	吉田 敬

グループ会社

- 日本ロングライフ株式会社 <http://j-longlife.co.jp>
- エルケア株式会社 <http://www.l-care.jp/>
- ロングライフサポート株式会社*1 <http://www.l-support.com/>
- ロングライフエージェンシー株式会社 <http://www.lla.co.jp/>
- ロングライフプランニング株式会社 <http://www.llp.co.jp/>
- ロングライフダイニング株式会社 <http://www.lld.co.jp/>

*1 平成20年11月1日に商号変更

*2 平成20年11月1日にオープン

事業所

●有料老人ホーム・グループホーム

ロングライフ長居公園/ラビアンローズ宝塚/グループホームみなせⅠ号館
グループホームみなせⅡ号館/ロングライフ芦屋/ロングライフうつぼ公園
ロングライフ上野芝/ロングライフ甲子園/ラビアンローズ上野芝
ロングライフ高槻/ラビアンローズ高槻/ラビアンローズ千里山
ロングライフ成城/ラビアンローズ緑地公園/ロングライフ・クイーンズ塩屋
ロングライフ葛西/ロングライフ梶ヶ谷/ロングライフ神戸青谷

●エルケア在宅介護センター

エルケア ひらかた/ひがしくすのき/北大阪/いのこだに/茨木/豊中少路
千里中央/豊中/高槻市役所前/くすのき/大阪西/西淀川/大正中央
みなと/新大阪/あわじ/淀川訪問看護/九条/天王寺/天神/都島毛馬
大阪阿倍野/西成/阿倍野総合在宅/生野/鶴見/城東すわ/大阪東住吉
住吉/ひらの/桃谷/駒川/堺/泉ヶ丘/さし/鳳/堺みなと
大阪和泉/かいつか/いずみおおつ訪問看護/はなぞの/大阪小阪
八尾みどり/ひょうたん山/おおはす/はびきの/高石/住之江/堺市駅前
デイサービス 本庄東/城東嶋野/高槻/みなせ/平野/弁天町/今福/阿倍野/上野芝*2
エルケアローズガーデン 住之江粉浜/高石/貝塚/平野長原
訪問入浴 大阪入浴/阿倍野入浴/豊中入浴/堺入浴
福祉用具 エルケア福祉用具/エルケア環状関西

●公益事業受託運営

バストラル加古川/バストラル尼崎

●ロングライフ医療福祉専門学院 なんば校

●人材・研修センター

ロングライフなんばプラザ(ロングライフなんば研修センター)

●保育園 のぼら保育園(上野芝)



株主メモ

- 事業年度 / 毎年11月1日から翌年10月31日
- 基準日 / 定時株主総会 毎年10月31日
/ 期末配当 毎年10月31日
/ 中間配当を行う場合毎年4月30日
- 株主名簿管理人 / 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 / 〒530-0004
(お問い合わせ先) 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
0120-094-777 (通話料無料)
- 公告方法 / 電子公告
ただしやむを得ない事由が生じた場合は、
日本経済新聞に掲載いたします。
- 上場証券取引所 / 大阪証券取引所
ニッポン・ニュー・マーケット「ヘラクレス」

○特別口座の口座管理機関および連絡先

特別口座の口座管理機関は、当社株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行となります。

口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
事務取扱場所	〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
インターネット ホームページ	http://www.tr.mufg.jp/daikou/



当社ホームページもあわせてご覧ください。

企業情報や投資家情報に加え、さまざまなコンテンツが充実しています。

<http://longlife-holding.co.jp/>



ロングライフホールディング株式会社

大阪本社 〒530-0015 大阪市北区中崎西二丁目4番12号 梅田センタービル25階
TEL: 06-6373-9191 FAX: 06-6373-9197

東京本社 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町三丁目2番9号 駒井ビル3階
TEL: 03-3272-5571 FAX: 03-3272-5561

フリーコール ここわ・ふくし
お客様相談室…………… **0120-550-294**
(ホーム見学受付)



ロングライフ神戸青谷